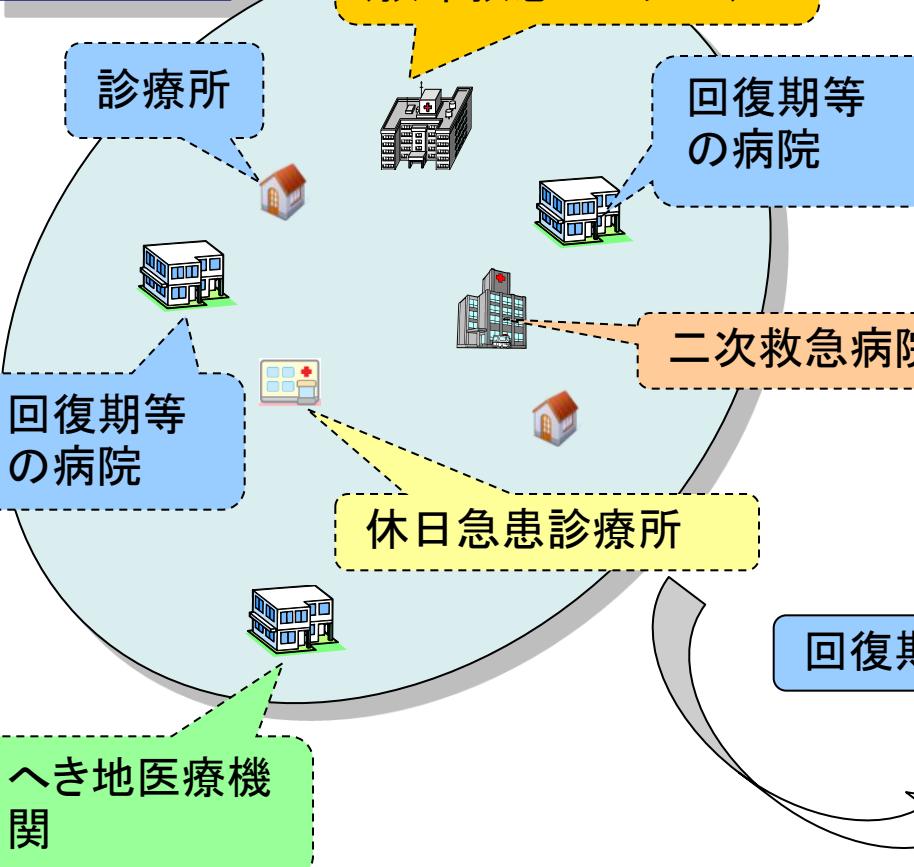
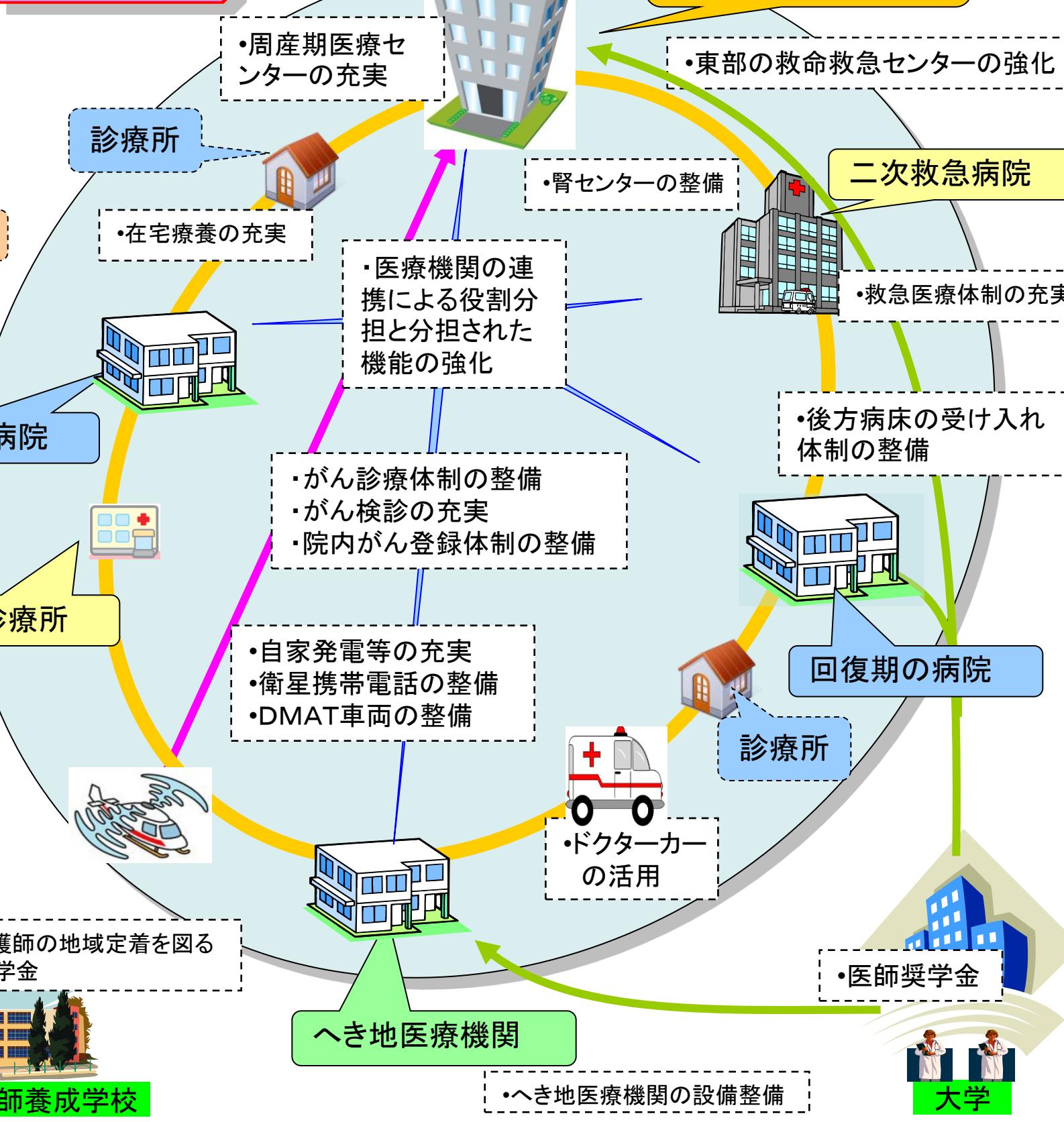


# 鳥取県地域医療再生計画(救急医療、医療連携等に重点化)

## 現状



## 実施後



## 課題

- 医師・看護師の更なる確保及び人材育成が必要。
- 地域での機能分担や急性期医療機関と連携した後方病院(回復期医療機関等)の医療提供体制を整えておくことが必要。
- 救急医療や周産期医療等の三次医療機関及び連携する医療機関の強化が必要。
- 県内の死因第一位である「がん」の対策を充実することが必要。

# 鳥取県における課題を解決する方策

## 1 課題を解決する方策

① 課題 : 医師、看護師の不足により、病院勤務医や看護師の負担が増大し、その役割を十分に果たすことができていないことから、医師、看護師の更なる確保や人材育成が必要。

目標 : 県内に定着する医師及び看護師を、それぞれ年間医師2名及び看護師10名増加させる。

対策 : 医師、看護師不足への対応(1.6億円)

(1) 医学部定員の緊急増に対応し地域定着を図るための奨学金制度を創設する。

(2) 看護師の離職防止等のための研究により看護師の資質向上や継続就労を図るとともに、看護師養成所卒業後の地域定着を図るための奨学金を創設する。

(3) 看護師養成の充実に向けた施設・設備整備等に支援する。

② 課題 : 地域での機能分担や急性期医療機関と連携した後方病院(回復期医療機関、長期化した慢性患者を受け入れる重症心身障害児施設等やへき地医療機関等)の医療提供体制を整えておくことが必要。

目標 : 地域での機能分担に応じた三次医療の充実強化及び連携する医療機関等の機能強化により、持続的な医療提供体制を構築する。

対策 : 医療連携体制の充実(8.0億円)

(1) 東部医療圏で機能が重複する病院間の連携を図りつつ機能を分担するとともに、強化すべき施設・設備の整備への支援を行う。

(2) 急性期から回復期・療養期(在宅を含む。)へと切れ目のない診療体制の構築のため後方病床等の患者受け入れ体制の整備への支援を行う。

(3) へき地に住んでいても適切に医療を受けられるよう医療機器等の充実を図る医療機関の設備整備への支援を行う。

# 鳥取県における課題を解決する方策

③ 課題 : 救急医療や周産期医療等の三次医療機関及び連携する医療機関の強化並びに災害医療体制の充実が必要。

目標 : 救急医療や周産期医療等の三次医療機関及び連携する医療機関の機能強化を図るとともに、災害時等に強い医療提供体制を構築する。

対策 : 救急医療・災害医療体制等の充実(16.6億円)

- (1) 救命救急センターのICUやHCU及び周産期医療センターのNICUやGCUの増床並びに二次救急医療機関等の医療提供体制の整備への支援等を行う。
- (2) ライフラインの寸断等災害時の自家発電装置やDMAT等の整備への支援を行う。
- (3) 感染症病床や腎センターの設置等の整備への支援を行う。

④ 課題 : 県内の死因第一位である「がん」の対策を充実することが必要。

目標 : 効果的ながん医療水準向上のため、データの収集、診療体制及び受けやすい検診体制を整備する。

対策 : 地域医療連携体制の構築(5.6億円)

- (1) マンモグラフィ等がん検診機器やがん診療設備等の整備への支援を行う。
- (2) がん診療拠点病院以外のがん診療病院の院内がん登録への支援を行う。

## 2 地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、医師・看護師が増加し、医療提供体制を担う医療従事者が安定的に確保され、地域での医療機関の機能分担と三次医療の充実強化により、急性期から回復期・在宅を含む療養期への切れ目ない診療体制が構築される。災害時のライフラインの寸断等に対応できる医療提供体制が整備され、がんなどの生活習慣病による若年層の死亡が減少する。

これらにより住民ニーズに応えられ安心して質の高い医療提供体制が持続される。

